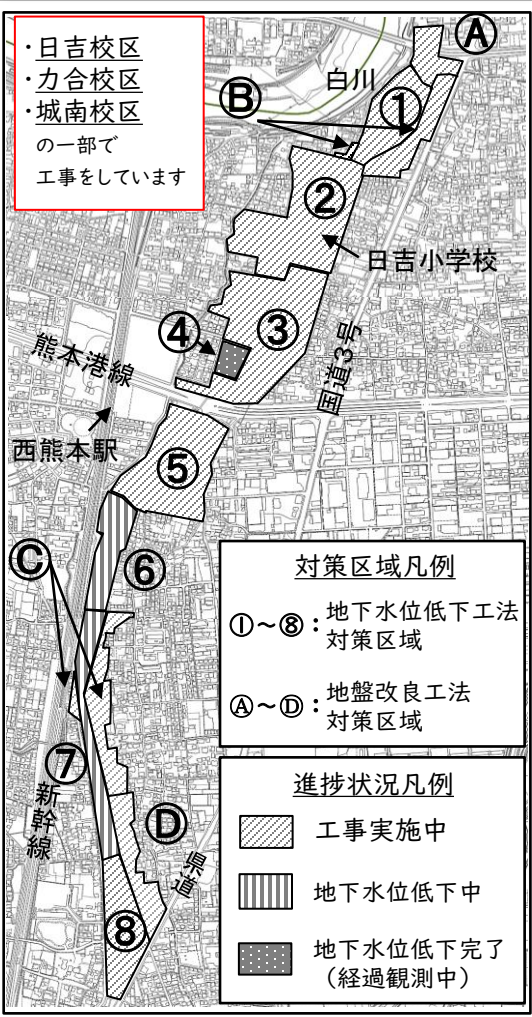


熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆さまに知っていただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めています。
ちかみらい通信は、熊本市のホームページやLINEでも公開しています。パソコンやスマートフォンで是非ご覧ください！

二次元コードからHPをご覧ください



1. ちかみらい通信は第50号発行を迎えました！

ちかみらい通信は、宅地液状化防止事業について広く市民の皆さまに知っていただくことを目的に、平成30年4月に熊本市宅地液状化防止事業情報誌として創刊しました。創刊から4年が経過し、今号で第50号発行を迎えることができました。

創刊号の内容は、実証実験に関するものでした。それから、地下水位低下工法採用の決定、最初の地下水位低下の開始について等、掲載してきました。

今後も事業に関する情報を分かり易く発信してまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いします。

ちかみらい通信

~液状化に強いまちを目指して~

ごあいさつ 熊本市では、これまで近見地区において「宅地液状化防止事業」の検討を進めてまいりました。検討の結果、近見地区において「地下水位低下工法」が有効であることが分り、工事の効果を確認するために実証実験を実施することとなりました。これを機に、事業について広く市民の皆さまに知っていただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めてまいります。一層、近見地区の復興をめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします！

液状化対策の実証実験を始めます
①実験手順
 1. 実験箇所の周りの水が入らないように、鋼製の「矢板」(壁)を地盤に打ち込みます。
 2. 実験箇所に、鉄板で重さを再現した「模擬家屋」を設置します。模擬家屋は一般的な家屋と同等の約60tの重さがあります。
 3. 矢板内の地下水を、地中に設置した「集水管」で集め、その水をポンプで排水して観測を開始します。
②観測内容
 地下水位を低下させ、水位の状況や矢板の透水効果を確認します。また、模擬家屋や周辺地盤への影響や沈下量を確認します。

★実証実験の現場見学会の開催案内
 日付：平成30年5月12日(土)、16日(水)
 時間：午前の部(10:00～)、午後の部(14:00～)の2部開催
 (※雨天の場合は翌日に延期)
 内容：実験内容や工法について説明を行います。
 ご興味のある方は、この機会に是非お越しください！

【問合せ先】
 熊本市都市建設局 震災宅地対策課 096-328-2966
 宅地液状化防止事業について 計画調整班
 宅地復旧支援事業について 宅地復旧支援班

実験場所：近見1丁目ふれあい公園
実験期間：平成30年4月18日～平成30年8月
(経過状況により期間が変更となる場合があります)

平面図

断面イメージ図

地下水位低下の様子

地下水位低下の様子
 地下水位が約10cm低下し、砂層が露出する。

ちかみらい通信創刊号(第1号)

熊本市公式LINE
ぜひ、熊本市公式LINEの友だち登録をお願いいたします！LINEアプリの「友だち追加」→「QRコード」で右の二次元コードを撮影し、ご登録ください。ちかみらい通信は「日吉校区」、「力合校区」、「城南校区」のいずれかを選択すると受信できます。

二次元コードからHPをご覧ください

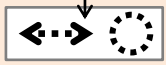
2. 液状化対策工事による交通規制(予定)について(令和4年7月)

現在、②、③、⑤、⑦、⑧の5つの地区で工事を実施しているため、多くの交通規制が行われています。今後の交通渋滞緩和のために、令和4年7月の交通規制の予定についてお知らせします。周辺にお住まいの方には、詳しい交通規制の工事用チラシを適宜、施工業者より配布しております。



工事や調査では、皆様にご不便をおかけいたします。引き続きご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

【交通規制について(破線箇所)】



<②地区>

- A 車両通行止め(昼間)
圧送管工事
- B 車両通行止め・片側交互通行(昼間)
遮水壁設置(薬液注入)

<③地区>

- A 車両通行止め(24時間)
遮水鋼矢板設置
- B 車両通行止め(昼間)
埋め戻し・構造物復旧
- C 片側交互通行(昼間)
埋め戻し・構造物復旧・遮水壁設置(薬液注入)
- D 片側交互通行(昼間)
集水管設置
- E 車両通行止め(昼間)
集水管設置
- F 車両通行止め(昼間)
遮水壁設置(薬液注入)
- G 片側交互通行(夜間)
立坑設置

<⑤地区>

- A 車両通行止め(24時間)
遮水鋼矢板設置
 - B 車両通行止め(昼間)
遮水壁設置(薬液注入)
 - C 片側交互通行(昼間)
立坑・集水管設置
- ※◎については夜間施工の可能性があります

<⑦地区>

- A 片側交互通行(24時間)
地盤改良(薬液注入)

<⑧地区>

- A 車線減少(昼間)
集水管設置

※天候等の諸事情によって、施工箇所や施工時期が変わることがあります。

